

札幌市共同利用館後継施設の整備について

1 札幌市庁内協議の状況

- 共同利用館後継施設を公の施設として移転・新築する。
- 移転場所は豊園保育園跡地とする。
- 施設規模は 400 m²程度とする。

2 施設機能と施設規模（札幌市庁内協議の状況）

室名	機能・用途	規模
団らんスペース （地域交流室）	・アイヌ民族が世代に関係なく安心して集い、世代間交流を行う場 ・アイヌ文化伝承を行う場 ・市民が地域交流を行う場	55 m ² 程度
会議室	・アイヌ舞踊等の控室及び着替えスペースとして利用 ・市民の会議室として利用	26 m ² 程度
集会室	・アイヌ舞踊や織物・刺しゅう等を行う場	73 m ² 程度
囲炉裏の間 （展示図書スペース）	・アイヌ伝統の儀式伝承のため、囲炉裏・火棚を備えた部屋 ・子どものうちからアイヌ文化に触れられる展示スペースを設置 ・アイヌ民族の制作活動発表の場、地域住民への普及啓発の場	58 m ² 程度
生活相談室	・都心部におけるアイヌ生活相談を行う場 ・会議室と併設し、相談がない時間帯は会議室としての使用を想定	15 m ² 程度
調理室	・アイヌの伝統食材や食文化の普及・伝承を行う場	30 m ² 程度
事務室	・施設を管理する職員が執務を行うための場	13 m ² 程度
倉庫・収納	・施設管理用品に加え、アイヌ儀式に使用する用具等を収納する場	43 m ² 程度
トイレ	・男性用、女性用、ユニバーサルトイレを備えたトイレを設置	35 m ² 程度
授乳室	・子育て世帯の利用も想定して設置	4 m ² 程度
その他	・アイヌ民族が利用しやすいような動線の配慮を行った上で諸室を設置	48 m ² 程度
合計	・施設規模は合計 400 m ² 程度	400 m ² 程度

3 想定スケジュール

区分	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度
工事等	基本計画	基本設計	実施設計	新築・外構工事	供用開始